

3・11 東日本大震災から10年

2011年3月11日。東北地方太平洋沖でM9.0の地震が発生し、津波で多くの方々が亡くなられ、かけがえのない大切な人や培った大事な田畑や家などの財産を一瞬で失うこととなってしまいました。厳しい寒さでの停電や断水に加え原子力発電所のメルトダウン、繰り返し流れるテレビの地震と津波映像に恐怖でただただ呆然と立ち尽くし、しばらくして家族と「もしも...」の確認と相談をしました。



『あひのひのこと』
葉 祥明 絵・文
佼成出版社より

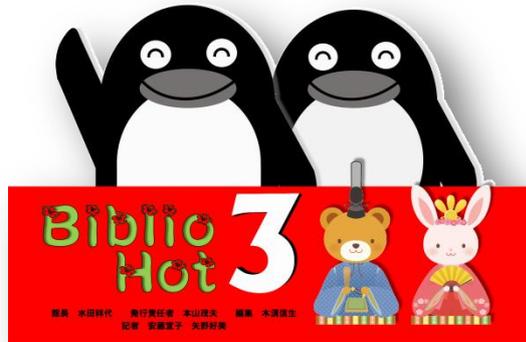
あれから10年。少しずつ復興も進み生活を取り戻しつつある方がいる中で、未だに住み慣れた場所へ戻れず、そこで暮らしを余儀なくされている方々があることも忘れてはなりません。私たちに出来ることは、あの日のことを決して忘れないこと。そして、未来を担う子ども達にとって必要なことを灯台の灯りのようにしっかりと照らし伝えていくことだと思います。



『とうだい』
齊藤 倫文
小池アミイゴ 絵
福音館書店より

ペンギン豆知識
ペンギンの仲間達 73

☆ペンギンクイズ
冠羽根を持つペンギンのうち立ち上がった剛毛が2列のツンと生えていて、パンクのようなペンギンは、なにペングインでしょうか？



答え シュレーターペンギン

二ユージーランドの南極に極海の浮島が、島の間に深淵を形成しています。

『新しい美しいペンギン図鑑』
テュイト・ロイ、マーク・ジョーンズ、
シユリー・コンンスウエイト作 上田一生
監修・解説 エクスナレッジより



おすすめの絵本



今月は、「震災」、「防災」、「いのち」、「東北地方」などをテーマとした「あの日を忘れない」絵本展を開催します。

震災後、スロバキアに住む絵本作家降矢奈々氏の呼びかけで始まった「手から手へ展」は、ヨーロッパ5ヶ国を巡りました。ここビブリオ・ラボでも原画と一緒に絵本作家さんそれぞれからのメッセージバガキが展示されており、見に来ていました。「絵本作家から子どもたちへ3・11後のメッセージ」の副題にあるように、「子ども達の未来のために」必要なこと、変えていかなければならないこと、伝えたいこと、守りたいことを原画とメッセージから考え、私に何が出来るのだろうか、沢山の課題をもらいました。今回はその時の図録も一緒に展示します。当時新聞の「子ども達の詩」選評者であった詩人の長田弘さんが子どもに語りかけたことが辞典として出版されています。この本を読むと子どもにとって大切な風景が見えるようです。

司書 矢野 好美



『FROM HAND TO HAND』
手から手へ
絵本作家から子どもたちへ
3.11 後のメッセージ 図録
手から手へ実行委員会より



『風のことば 空のことば』
語りかける辞典
長田弘 詩
いせひでこ 絵
講談社より

お知らせ

おはなし会の休み
およびお昼休みの実施

指原市内でのコロナ感染増加に伴い、これ以上の感染を拡大させないために本館の「おはなし会」を休止し、下記の時間帯を休館いたします。また、施設の利用時間も1日3時間を目安に制限させていただきます。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

	休館時間
平日	12時30分～14時00分
土日祝	13時00分～14時30分
	(対象はキッズ、ベイビー、ラボ)

ウイルス等の感染予防

手洗い 消毒 マスク